

取扱説明書

Defi-Link Meter ADVANCE CR
デフィーリンクメーターアドバンスイーアル
DF07801~DF09404

Defi-Link Meter ADVANCE BF
デフィーリンクメーターアドバンスビーエフ
DF09901~DF10706, DF14701~DF14703

Defi-Link Meter ADVANCE RS
デフィーリンクメーターアドバンスールス
DF13501~DF14101, DF17901~DF18501

Defi-Link Meter ADVANCE A1
デフィーリンクメーターアドバンスエイワン
DF14801~DF15401, DF17401~DF17501

A1: 22.10-5

重要
保護メガネを常に着用してください。

SI Series

本製品はDefi-Link ADVANCE Control unit (アドバンスコントロールユニット)と一緒に使用する製品です。本製品だけでは動作しません。本製品をご使用の際は必ずアドバンスコントロールユニットの取扱説明書も合わせてお読みください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は車両情報を表示するアナログメーターです。お客様・取り付け業者様とともに、ご使用前の取り扱い説明書と保証書をよくお読みの上、十分に内容を理解してから正しくお使いください。特に安全・取り扱いに関するご注意は必ずお読みください。取り付け後も、スタートガイドと保証書をいつでも取り出せるところに大切に保管し、正しい取り扱い方法でご使いいただけますようお願い申し上げます。本製品(及び本製品が取り付けられている車)を他人に貸し出したり譲渡する場合は、スタートガイド及び保証書も必ずお渡しください。

なお、本品の装着に関する事故や弊害につきましても、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品をお取り付けの際は、取り付ける車両のメーカーが発行している整備解説書、配線図に示されている内容や安全に関する注意事項も合わせてよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けいただけますようお願い申し上げます。また、ご使用に本体及び付属品が全て入っているかご確認ください。

エンジンコンピューター配線図は当社Webサイトに掲載しておりますのでご確認ください。

安全・取り扱いに関するご注意【必ずお読みください】

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を「危険」「警告」「注意」の3つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に正しくお使いいただくために必ず行っていたべき注意事項、守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお取り付けください。

危険	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負うことがあり、かつその切迫度合いが高いことが想定される場合。
警告	取り扱いを誤った場合、死亡、又は重傷を負う可能性が想定される場合。
注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害の発生が想定される場合。
確認	「必ず行っていたきたい事」「必ず守っていたきたい事」を示しています。

注意内容の性質表示

	注意 (警告を含む)をしなければならない記号です。
	は、行為を禁止する記号です。(絶対にしてはいけない事です。)
	は、行為を指示する記号です。(必ず行っていたきことです。)

取り付け作業をする前に(取り付け業者様へ)

- 危険**
- 製品は水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けしないでください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
 - 作業を行う時は必ず車が動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中に車が動き出したり、火災の原因となり大変危険です。
 - 配線作業中は必ずキーシリンダーから鍵を抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
 - シートベルトやエアバックなどの安全装置や、エンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工時および配線の接続時(ネジの脱着など)は誤配線に十分注意してください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
 - 配線の接続はハンダ付けを行うか、エレクトロタップがギシギシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかることは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護していただく。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
 - 電源配線時、電源ハーネスに断線がないか、または断線しちゃうという心配を確認してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
 - 電源配線時、IGNハーネス接続ラインの車両側に30A以下のヒューズがあることを確認してください。30Aを超えるヒューズの場合、ショート故障の際に溶断せず火災の原因となり大変危険です。
 - ヒューズが切れた場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用するとショート事故による火災の原因となり大変危険です。また、車両の故障や事故の原因となります。
 - 製品に付属しているヒューズ以外のヒューズを使用する場合は、必ず規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量を超えるヒューズを使用した場合、火災の原因となり大変危険です。
 - 製品が故障したり誤動作した場合は速やかに製品の使用を中止してください。続けて使用すると車両の故障や事故の原因となります。

警告

- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく、故障や事故の原因となります。
- エンジン停止直後は絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後はエンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う可能性があります。
- 配線作業中にハーネスを切断する場合、複数のハーネスをまとめて切断しないでください。必ず単線毎に切断してください。ハーネスをまとめて切断すると車両のコントロールなどを破壊する恐れがあります。
- 作業中は幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込み等の恐れがあります。
- 真鍮保護塗膜(エアバック等)の動作に影響を及ぼす場所に取り付けしないでください。保護装置作動時にケガの恐れがあります。
- 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。特に安全装置や運転の妨げになる位置に製品を取り付けしないでください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなります。
- 必ず既存の配線がショートおよび断線しないように本製品の配線を行ってください。また、車速・エンジン回転数信号の配線の際は、以下の順で配線作業を行ってください。手順を誤ると車両のコントローラーなどを破壊する恐れがあります。1. 最初にアドバンスコントロールユニットの電源配線を行ってください。2. イグニッションキーON時にアドバンスコントロールユニットの電源確認マークが点灯することを確認してください。3. バッテリーのマイナス(-)端子を再度外し、車速・エンジン回転数信号の配線作業を行ってください。

注意

- 本製品に過大な力をかけたり、ぶついたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子などに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 本製品付属のハーネス以外で配線をしてください。
- ハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。ハーネスの破損、溶断の原因になります。
- コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。
- インストルメントパネルの助手席側及びセンターにメーターを埋め込みたいでください。車両の保安基準に適合しません。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- アドバンスコントロールユニットは、水のかかる場所、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- アドバンスコントロールユニットに無線機や携帯電話等電波を発する機器が触れないように設置してください。誤動作の原因となります。
- 12V仕様車専用です。12V車以外には取り付けられません。
- ハーネスは点火信号や無線、HIDユニットのハーネスなどのノイズの発生しそうな場所を避けて配線してください。点火系などのノイズはメーター誤動作の原因となります。
- 使用しない配線は絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものを必ず正しく組みつけ、固定してください。
- エンジンルーム内で配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
- センサーを取り付ける際は、センサー近くのハーネス部分を曲げないように取り付けてください。
- ハンダ付けで火傷をしたり、配線・部品の端部・尖った部分等に当たり手を切傷することがないように手袋を着用してください。

注意

- センサーは熱のこもらない場所、及び水のかからない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- サンシールドを使用する場合は、フロントガラスと製品の間に黒くするようにして製品が日陰になるようにしてください。
- 清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れは落ち、中性洗剤に浸してよく絞った布で拭いてください。有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)、酸・アルカリ類は使用しないでください。

確認

- メーターは前面に傾けないでください。オイルが漏れる可能性があります。Aの角度は90度以上でなくてはなりません。90°以上
- 取り付けは必ず本機に従ってください。
- 取り付け作業が終了しましたら、スタートガイド、保証書、残りの部品、パッケージは必ずお客様にお渡しください。
- 純正部品の取り付け、取り外しに際しては、カーメーカー発行の整備書を確認してください。
- 電源配線前には、分岐する車両配線の電圧を確認してください。配線後、電源ハーネスのコネクタ側で再度電圧を確認してから製品に接続してください。
- ナビゲーションシステムやカーテレビを取り付けている場合は、それら本体やアンテナ、モニター、ハーネス類からできるだけ本製品の配線、取り付けを行なってください。近付けたリ、ハーネスを一緒に束ねたりするとテレビ表示に影響を与える場合があります。
- バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去される物があります。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直してください。
- 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば、正常動作します。
- 取り付け作業の際に純正部品等が破損、紛失しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

取り扱いに関して(お客様・取り付け業者様へ)

- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。保証の対象外となるだけでなく故障や事故の原因となります。
- 走行中は安全のため本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- 「表示がでないなどの故障状態や、「水などがこぼれた」「煙が出た」「変な匂いがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。
- 本製品をお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。お客様による取り付けは、故障や事故につながる恐れがあります。また、個人でお取り付けられた場合は、保証の対象外となります。
- 操作は車を停止して行ってください。
- 幼児・子供等がスイッチやその他の部品を飲み込まないようにイノバン等にしっかりと固定してください。

注意

- コード、特にコネクタ部を強く引っ張らないでください。破損の原因となります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながら抜いてください。また、コネクタによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認

- IDefi-Linkシステムとリンクさせることはできません。
- 同一表示(機種)のメーターは同時に接続できません。(例:ターボ計を2つ接続など)
- 製品の表示は参考値です。純正メーターの指示で運転してください。
- 取り付け後も定期的な点検を実施し、十分注意でご使用ください。使用環境や条件等によって耐久性が落ちる場合があります。
- 対応車両数は1・2・3・4・5・6・8気筒の4サイクルです。ディーゼル車には取り付けできません。
- 電源・信号の配線についてはWebサイトの適用車種検索をご参照ください。
- 廃棄するときは、各自自治体の指示に従ってください。
- 本製品は照明に高輝度LEDを使用しています。LED生産上の公差による多少の色味の違いが発生する場合がありますが、製品の異常ではありません。
- アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ時のバッテリー電圧の降下によりエンジン始動復帰時に製品の電源がオフになる場合がありますが、製品の異常ではありません。

ラインナップ(お客様へ)

製品名	品番
デフィーリンクアドバンスコントロールユニット	DF07703

- 同一表示(機種)のメーターは同時に接続できません。(例:ターボ計を2つ接続など)
- メーターの動作にはアドバンスコントロールユニットが必要です。
- アドバンスコントロールユニット1台で制御できるのはメーター7台までです。

機種名	表示範囲	黒文字モデル	黒文字板	白・黒文字板		
ターボ計2.0	-100~+200kPa	DF13501	DF17901			
ターボ計1.2	-100~+120kPa					
インマニ計(※1)	-100~+20kPa	DF13601	DF18001			
油圧計	0~1000kPa	DF13701	DF18101	生産終了		
燃圧計	0~600kPa	DF13801	DF18201			
油温計	50~150℃	DF13901	DF18301			
水温計	20~120℃	DF14001	DF18401			
排気温度計	200~1100℃	DF14101	DF18501			
タコメーター	0~9000rpm					
機種名	表示範囲	BFホワイトモデル	BFアンバーレッドモデル		BFブルーモデル	A1
ターボ計3.0	-100~+300kPa	DF14701	DF14702		DF14703	DF14901
ターボ計2.0	-100~+200kPa	DF09901	DF09902		DF09903	DF14801, 02(※2)
ターボ計1.2	-100~+120kPa	DF10001	DF10002	DF10003		
インマニ計(※1)	-100~+20kPa	DF10101	DF10102	DF10103	DF17401	
油圧計	0~1000kPa	DF10201	DF10202	DF10203	DF15001	
燃圧計	0~600kPa	DF10301	DF10302	DF10303	DF15101	
油温計	50~150℃	DF10401	DF10402	DF10403	DF15201	
水温計	20~120℃	DF10501	DF10502	DF10503	DF15301, 02(※2)	
排気温度計	200~1100℃	DF10601	DF10602	DF10603	DF15401	
タコメーター	0~9000rpm	DF10704	DF10705	DF10706	DF17501	

■BF・A1メーター Φ60シリーズ

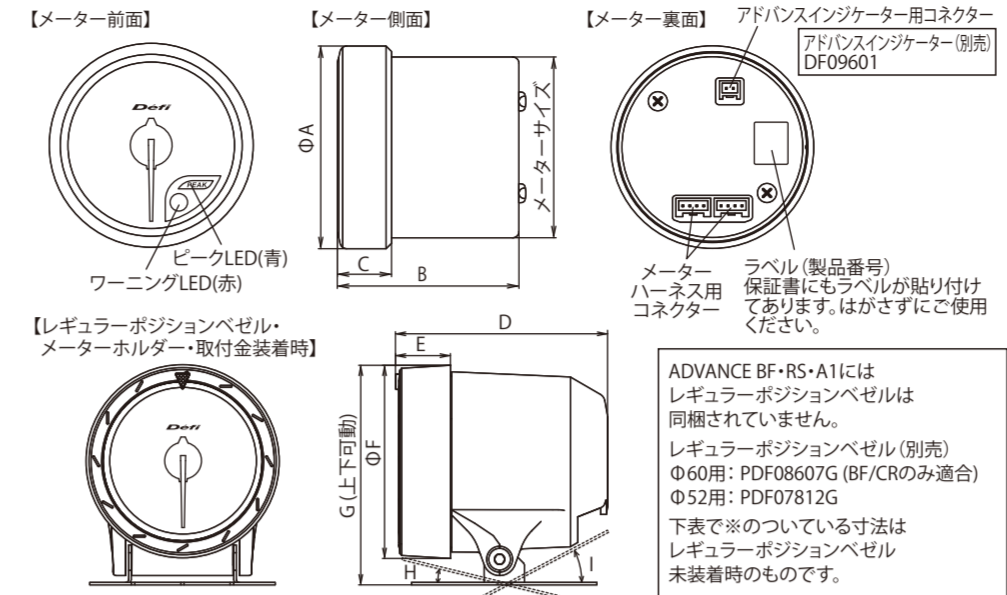
機種名	表示範囲	BFホワイトモデル	BFアンバーレッドモデル	BFブルーモデル	A1
ターボ計3.0	-100~+300kPa	DF14701	DF14702	DF14703	DF14901
ターボ計2.0	-100~+200kPa	DF09901	DF09902	DF09903	DF14801, 02(※2)
ターボ計1.2	-100~+120kPa	DF10001	DF10002	DF10003	
インマニ計(※1)	-100~+20kPa	DF10101	DF10102	DF10103	DF17401
油圧計	0~1000kPa	DF10201	DF10202	DF10203	DF15001
燃圧計	0~600kPa	DF10301	DF10302	DF10303	DF15101
油温計	50~150℃	DF10401	DF10402	DF10403	DF15201
水温計	20~120℃	DF10501	DF10502	DF10503	DF15301, 02(※2)
排気温度計	200~1100℃	DF10601	DF10602	DF10603	DF15401
タコメーター	0~9000rpm	DF10704	DF10705	DF10706	DF17501

※1: インマニ計はインターカムホールドプレッシャー計を省略したものです。
※2: DF14802, DF15302には、センサー・センサーハーネス・センサー取り付け関連部品が同梱されておりません。

特長(お客様へ)

- ・アドバンスシステム(双方方向通信)採用
- ・リモコンスイッチにより手元操作が可能
- ・平面ガラス、高精細目盛りと細く長い指針の採用により、的確な指示値と高い視認性を実現
- ・2種類から選択可能なオープンモードとエンディングモードで演出
- ・2台以降のメーター追加は、メーター間の接続とセンサーからアドバンスコントロールユニットに配線するのみ
- ・自社製ステッピングモーター採用により、ハードなスポーツドライビングにスムーズかつ瞬時に追従
- ・最大振れ角270°を3072~4600分割(0.088°~0.059°)のマイクン制御で車両情報を正確に指示
- ・自己診断機能により、断線・ショート・通信エラーを診断し、ワーニングLEDでお知らせ
- ・ワンタッチ(任意)を設定、ワーニングLED(赤色)と同様にブザーでも警告(ブザー音はON/OFFの設定が可能)
- ・走行データ(走行中のピーク値、ワーニング値)を最大3分間記録し、走行後に再生可能
- ・専用の取付金、メーターホルダーを標準装備
- ・燃圧計とターボ計を接続することで燃圧計に差圧表示可能 ※ターボ計3.0では使用不可
- ・ADVANCE FD/ZDをリンクすることでメーターの照明を自動調節
- ・夜間照明は2色間で切り換え可能(CR/RS)
- ・夜間照明時はガラス外周が赤く発光するリング照明(CR)
- ・レギュラーポジションベゼルを標準装備(CR)
- ・低発光式メーターにより、常にハイコントラストで鮮明な視認性を実現(BF/A1)
- ・低反射ガラスを採用し、高い視認性を実現(A1/RS/Φ60)
- ・昼夜それぞれ独立した5段階調光が可能、夜間減光キャンセル機能付き(BF/A1)

寸法・各部名称(お客様・取り付け業者様へ)

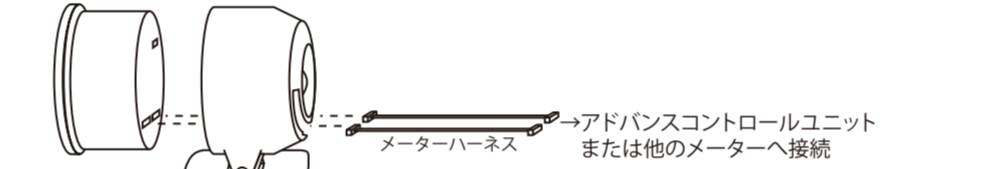


	メーターサイズ				単位:mm
	CR/RS Φ52	CR Φ60	BF Φ60	RS/A1 Φ60	
A	58.3	66.3	66.3	66.3	
B	52.2	52.2	52.2	54.6	
C	15.5	15.5	15.5	17.9	
D	68.6	68.6	65.9※	68.3※	
E	17.8	17.8	—	—	
F	62.5	70.5	—	—	
G	69.6~71.1	77.6~79.1	75.5~77※	75.5~77※	
H	15°	15°	18°※	18°※	
I	28°	32°	32°※	32°※	

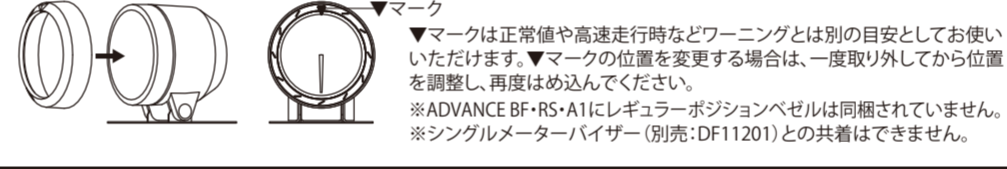
取り付け方法(お客様・取り付け業者様へ)

- アドバンスコントロールユニットの取扱説明書を参照しながら取り付けてください。
- お取り付けになる前に構成部品が全て入っているかご確認ください。

ハーネスの配線方法



レギュラーポジションベゼルの使用方法

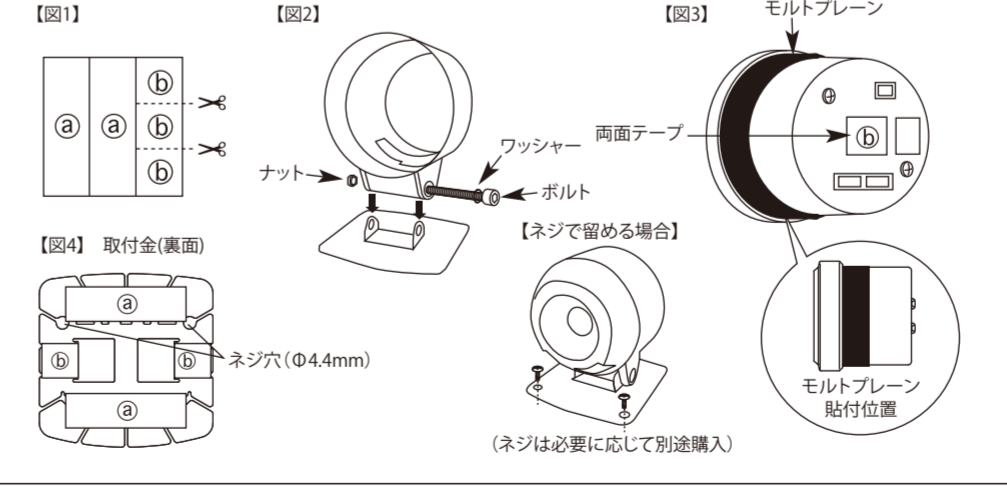


メーターホルダーと取付金の取り付け方

- 付属の両面テープ(大)を切断します。【図1】
- メーターホルダーの溝に取付金の凸部を挿入し、付属のボルト・ナット・ワッシャーで締め付け、固定してください。【図2】
- メーターにモルトブレンと両面テープ(b)を貼ります。(Φ52シリーズの場合はモルトブレンを16cmにカットしてお使いください。【図3】
- メーターホルダーの穴にメーターハーネスを通してメーターに接続します。(前記ハーネスの配線方法参照)
- メーターをメーターホルダーにセットします。このとき、各ハーネスが噛み込まないように注意してください。
- 取付金の裏面に両面テープ(a)と(b)を各2枚貼り付けます。取り付けたい場所の形状にあわせて、取付金を曲げて、貼り付けてください。【図4】

確認

- 両面テープを貼る面は、市販のクリーナーを使って、ホコリ・汚れ、油分をよけ拭き取ってください。
- メーターは前面に傾けないでください。オイルが漏れる可能性があります。Aの角度は90度以上でなくてはなりません。
- 両面テープでの固定が不十分な場合、取付金の穴を利用して、市販のタッピングネジ(太さ4mm)等で固定してください。



A1には取付金の上に被せる取付金カバーが付属しています。使用する場合は、両面テープ(l)の白い剥離紙からテープを剥がし取付金上面の中心に貼り付けたあと、取付金カバーを被せてください。(テープには裏表があります。)ネジは取付金カバーの下で留めてください。残りのテープは必要に応じてご使用ください。
※取付金カバーはCR・BF・RSには付属していません。オプションパーツで販売しています。(取付金カバー品番:PDF14803G)

製品仕様(お客様・取り付け業者様へ)

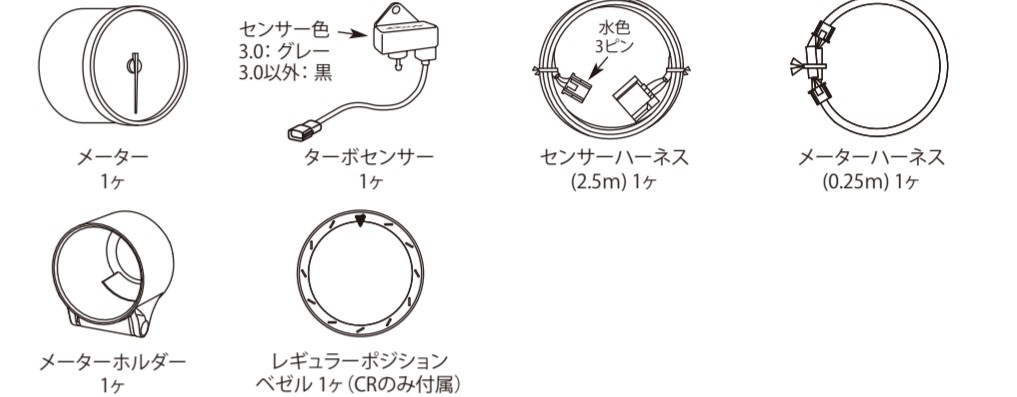
- 電源電圧 10V~16V DC(12V車専用)
 - 消費電流 メーター7台接続時の最大値
+B線 2A(IGN ON時) / 5mA(IGN OFF時)
ILM線 800mA
 - 温度範囲(すべて温度80%以下とする)
- | | 保存温度範囲 | 使用温度範囲 |
|-----------------|-----------|--------------------------------|
| メーター | -30~+80℃ | -20~+60℃ |
| アドバンスコントロールユニット | -30~+80℃ | -20~+60℃ |
| スイッチユニット | -30~+80℃ | -20~+60℃ |
| ターボセンサー | -30~+100℃ | -30~+80℃ ※各センサーのコネクタ部は105℃以下 |
| 圧力センサー | -30~+140℃ | -30~+120℃ |
| 温度センサー | -30~+150℃ | -20~+150℃ |
| 排気温度センサー | -30~+130℃ | -30~+130℃ ※排気温度センサーのセンシング部分は除く |

- 照明色
メーターワーニングLED: 赤
メーターピークLED: 青
CR夜間照明色 白文字板: アンバーレッド/ブルー 2色間で切り換え可能
黒文字板: ホワイト/アンバーレッド 2色間で切り換え可能
リング・指針: 赤

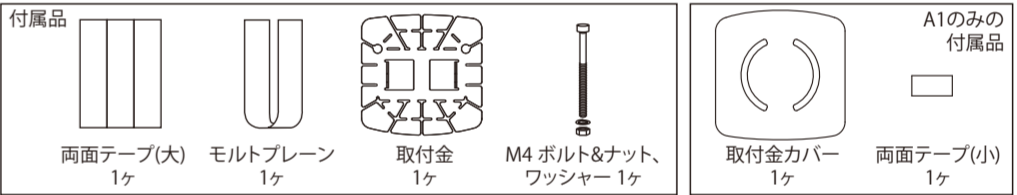
BF照明色: ホワイト/アンバーレッド/ブルー 指針: 赤
RS夜間照明色: クラックグリーン/クラックホワイト(電球色) 2色間で切り換え可能 指針: 白、照明ONで赤
A1照明色: 白 指針: 白
※BF・RS・A1にはリング照明はありません。BF・A1には照明色の切り換えはありません。

ターボ/インマニ

構成部品

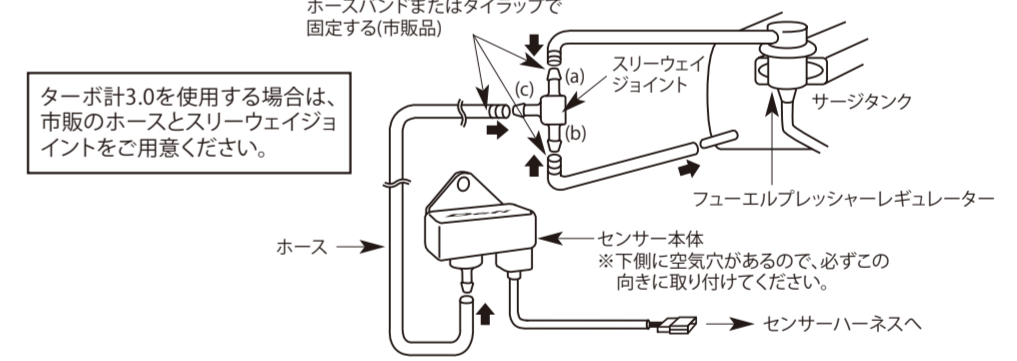


ターボ計3.0以外のターボ計・インマニ計に付属している部品	ターボ計3.0にはゴムホースとスリーウェイジョイントは付属していません。耐圧400kPa以上のホース(内径Φ4mm)と車両の配管に合うスリーウェイジョイントを別途ご用意ください。 ターボ計3.0以外に付属しているゴムホースは、耐圧が低い仕様のため、ターボ計3.0には使用しないでください。
ゴムホース内径 Φ4mm x 3用	内径 Φ4mm
スリーウェイジョイント 1ヶ	ゴムホース(0.5m) 1ヶ



上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

ターボセンサー取り付け(※ガソリン車への取り付け例)



- センサーをホースができるだけ短くなるように、エンジンルーム内(振動、熱のない場所)にボルト(M6)などで固定します。
- 吸気圧は、サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間から取ります。(A)吸気圧の少ないサージタンク側のバキュームホースを外し、スリーウェイジョイント(b)または(a)と接続します。(B)サージタンクとスリーウェイジョイント(a)または(b)をホースで接続します。(C)センサーとスリーウェイジョイント(c)をホースで接続します。

警告

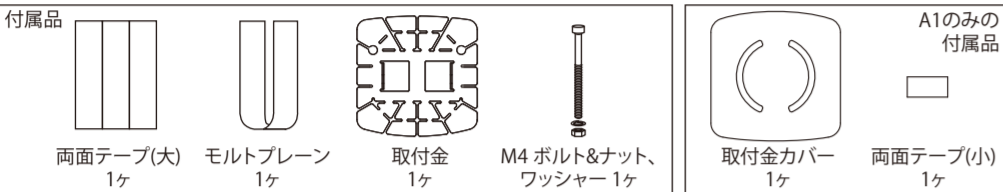
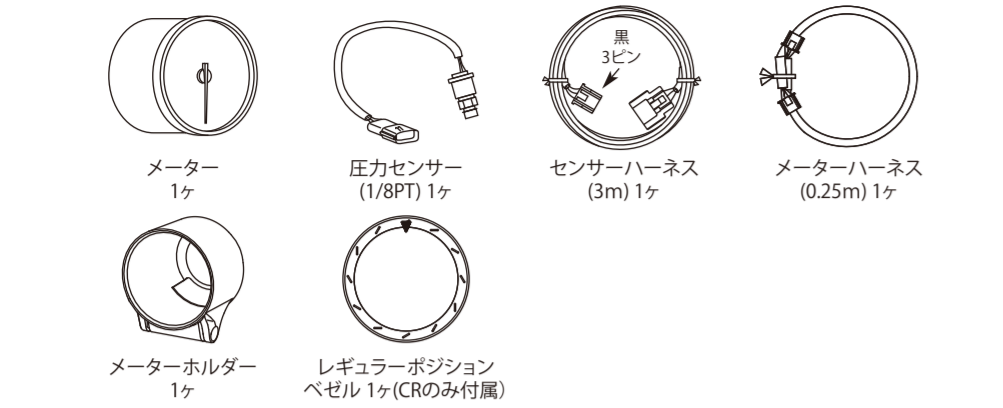
- ターボ計3.0を使用する場合は、市販のホースで耐圧400kPa以上のものを使用してください。耐圧が低いホースでは、走行中にホースが裂けてエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 配管する際は、ホースが抜けないように、接続部分に市販のホースバンドまたはタイラップで固定してください。ホースよりエアが漏れたり、ホースが抜けたまま走行するとエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 正常な吸気圧を表示しない場合は、直ちにエンジンを停止し、製品の使用を中止してください。吸気圧の取り出し位置が異なるか、あるいはホースに抜け、漏れがある可能性があります。配管を再確認してください。

確認

- センサーは、ホースとの接続部分が確実に下向きになるように取り付けてください。
 - サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間にソレノイドバルブがある車種は、ソレノイドよりサージタンク側にスリーウェイジョイントを付けてください。
 - 車両によっては取り付けできない場合があります。不明な場合は販売店やディーラーにお問い合わせください。付属のスリーウェイジョイントが車両に合わない場合は、車両に合ったものを別途ご用意ください。
- 【ターボ計3.0使用時の注意点】
- 各機能の詳細についてはアドバンスコントロールユニットの取扱説明書をご参照ください。
 - 3.0用のターボセンサーを取り付けている場合は、3.0のターボ計を使用してください。2.0以下用のセンサーを取り付けている場合は、2.0以下のターボ計/インマニ計を使用してください。組み合わせが合わないとき正常な表示ができません。
 - ADVANCE ZDと合わせてご使用いただく場合、ワーニング設定中にADVANCE ZDIに表示される設定値と、ターボ計本体に表示される設定値が一致しません。ターボ計本体に表示される値で設定してください。
 - ターボゼロリセット機能(ゼロ点がずれている場合のオフセット調整)は使用できません。燃圧計と同時に使用する場合の差圧表示機能は使用できません。

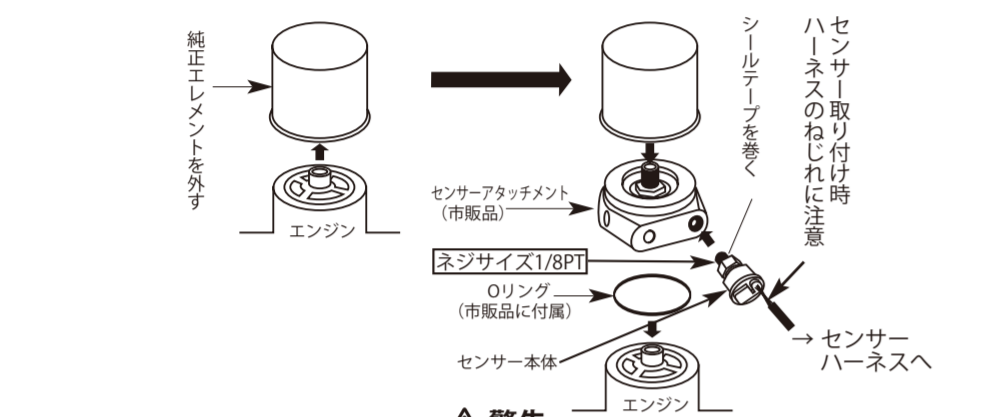
油圧

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■圧力センサー取り付け (市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



△警告

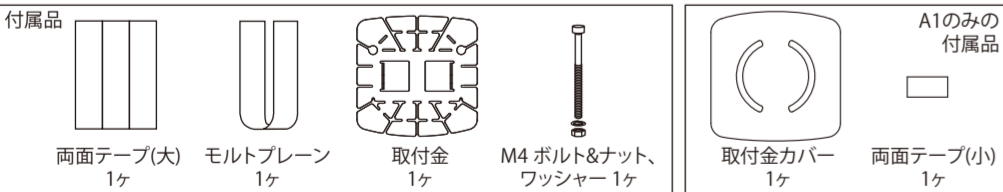
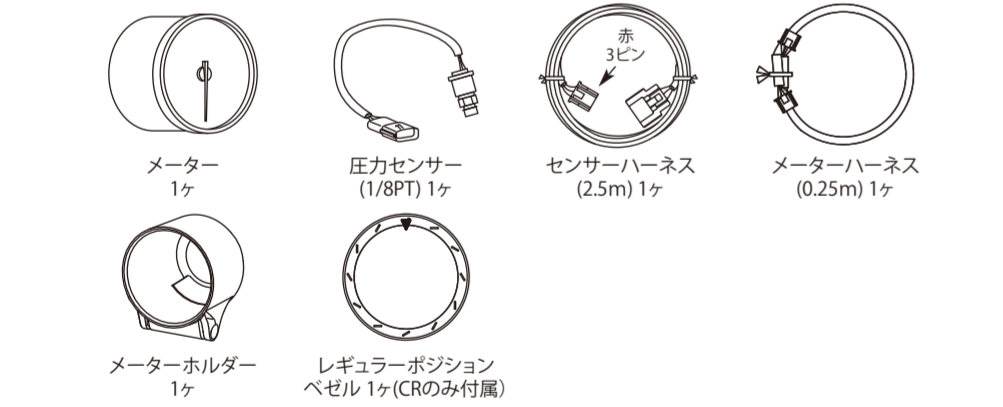
- ① センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ② 取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ③ センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けてください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ④ センサーはオイルポンプの近くには取り付けないでください。また、プレッシャースイッチに直付けしないでください。いずれの場合も圧力の脈動が大きく、瞬間的にフルスケールの3倍を超える為、センサーに悪影響を与える危険があります。
- ⑤ センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- ① センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- ② 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

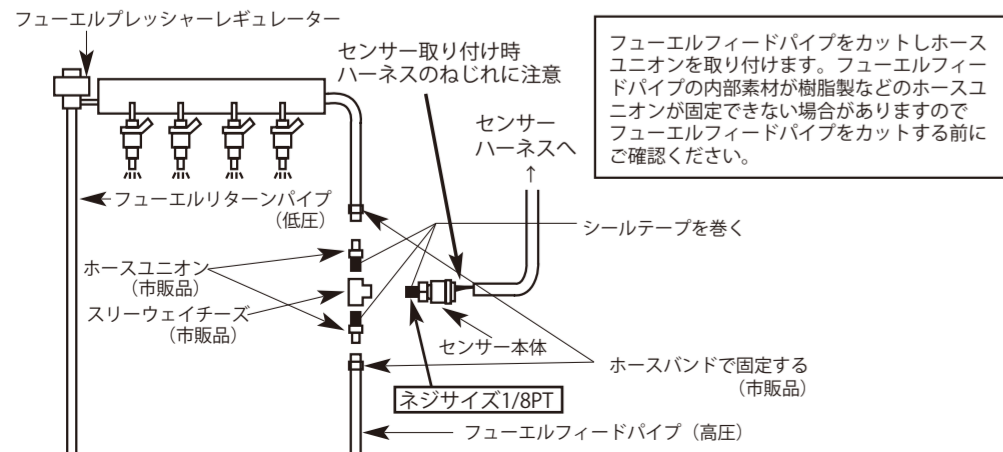
燃圧

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■圧力センサー取り付け (市販品1/8PTスリウエイチズ、市販品1/8PTホースユニオンを使用)



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

△警告

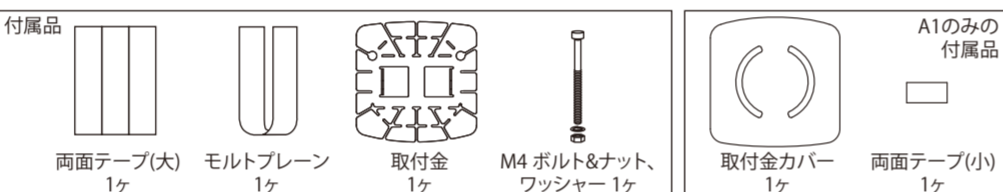
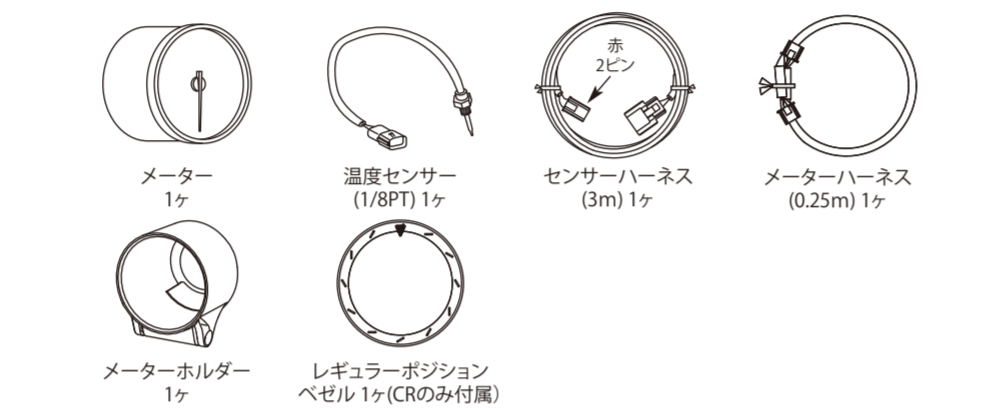
- ① センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ② フューエルフィードパイプを切断する前に、必ず給油口を開けて、フューエルタンク内の圧力を下げてください。燃料が吹き出す恐れがあり、大変危険です。
- ③ フューエルフィードパイプを切断する際は必ず除電して作業を行ってください。燃料に引火する恐れがあり大変危険です。
- ④ フューエルフィードパイプを切断する際は、燃料から目を保護するため、保護メガネを着用して作業を行ってください。
- ⑤ センサーは、燃料漏れを起こさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、市販のホースユニオンとフューエルフィードパイプを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずパイプやホースユニオンに燃料漏れがないか点検してください。燃料が漏れたまま走行すると、火災やエンジン破損を引き起こす可能性があり、大変危険です。
- ⑥ センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- ① センサーは必ず、フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーター間のフィード(高圧)パイプ側へ取り付けてください。フューエルプレッシャーレギュレーター後のリターン(低圧)パイプ側では、正確な燃圧をとることが出来ません。
- ② センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのホースユニオンとスリウエイチズをご使用ください。
- ③ 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

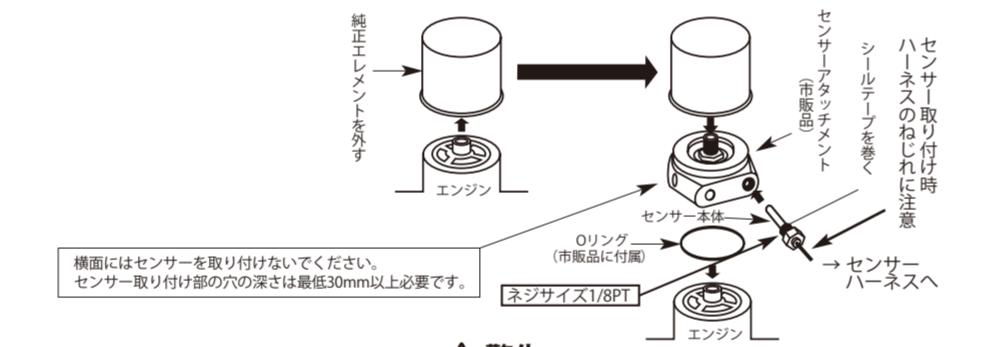
油温

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■温度センサー取り付け (市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



△警告

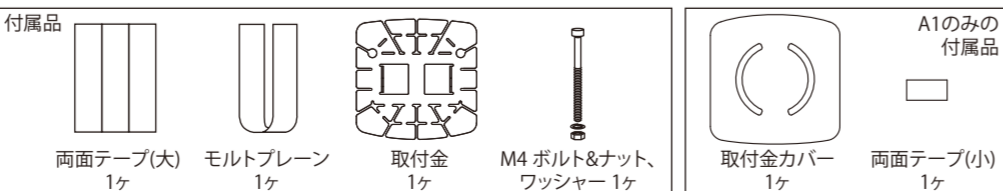
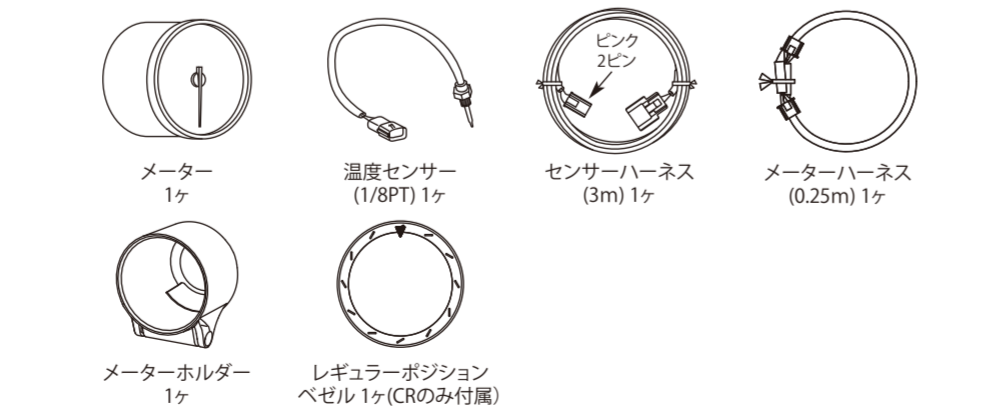
- ① センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ② 取り付け作業によって、抜けた分のオイルは必ず補充してください。オイルが少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ③ センサーは、オイル漏れをおこさないよう、ネジ部にシールテープを巻き、確実に取り付けてください。また、走行前には必ずセンサーアタッチメントにオイル漏れがないか点検してください。オイルが漏れたまま走行すると火災やエンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ④ センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- ① センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- ② センサー取り付け部の穴の深さは最低30mm以上確保してください。
- ③ 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

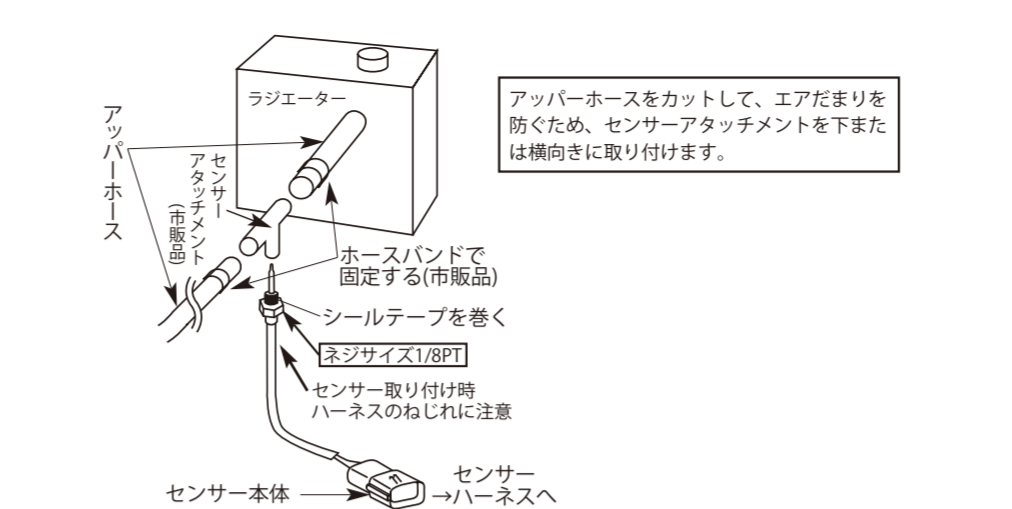
水温

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■温度センサー取り付け (市販品1/8PTセンサーアタッチメントを使用)



△警告

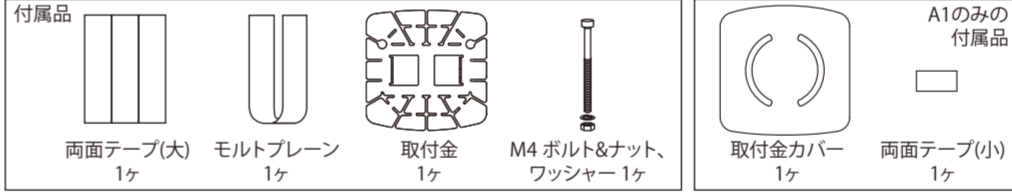
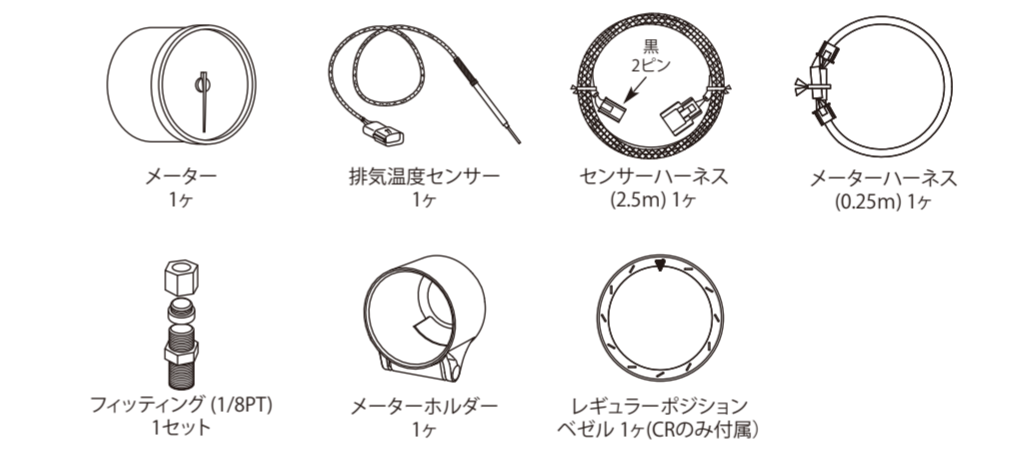
- ① センサー取り付けの際は、センサーハーネスのねじれがない様に取り付けてください。センサーハーネスが断線する恐れがあります。
- ② 取り付け作業によって、抜けた分の冷却水は必ず補充し、エア抜きを行ってください。冷却水が少ないとエンジンオーバーヒートする恐れがあります。
- ③ センサー取り付け作業を行う際は、水漏れを起こさないようにシールテープを巻き、市販のセンサーアタッチメントとアッパーホースを市販のホースバンドで固定してください。また、走行前には必ずホースやセンサーアタッチメントに水漏れがないか点検してください。水が漏れたまま走行すると、エンジン破損を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- ④ センサーの断線を防止するため、ハーネスをセンサーの根元で曲げず、まっすぐに引き出してください。また、防水カプラーのセンサー側を必ず市販のタイラップ等で、車体に固定してください。

確認

- ① センサーのネジサイズは1/8PTです。ネジサイズが1/8PTのアタッチメントをご使用ください。
- ② 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

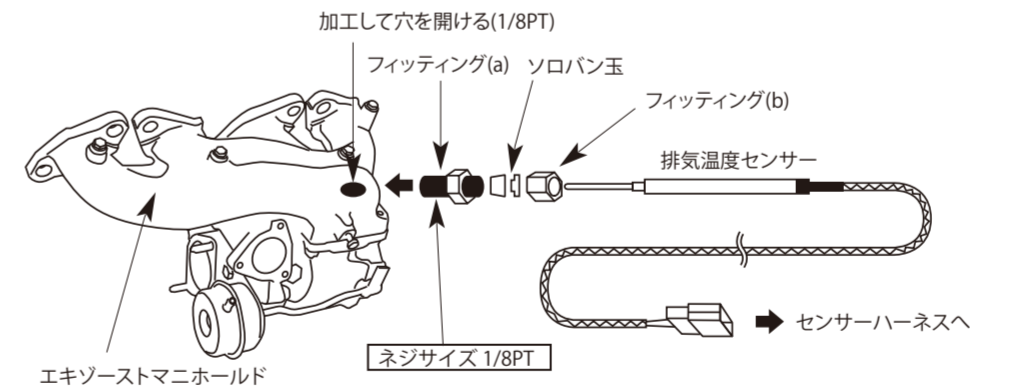
排気温度

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■排気温度センサー取り付け



- エキゾーストマニホールドに1/8PTのネジ穴を開けます。(肉厚が薄い場合は溶接)
- フィッティングをばらします。中のソロバン玉を紛失しないよう注意してください。
- フィッティング(a)をエキゾーストマニホールドの穴を開けた場所に取り付けます。
- フィッティング(b)とソロバン玉にセンサーを通します。
- センサーの先端をフィッティング(a)に挿し込みます。このときセンサーの先端部分がエキゾーストパイプなどの内径の中心へ来るように調整してください。
- フィッティング(b)を締めます。

△警告

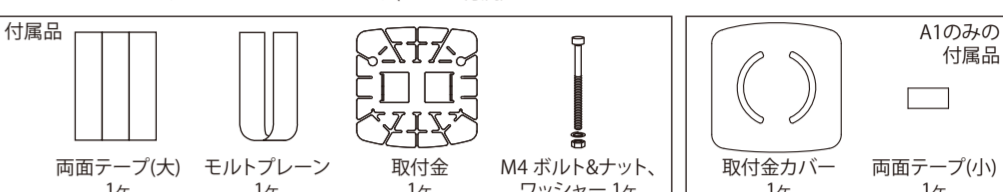
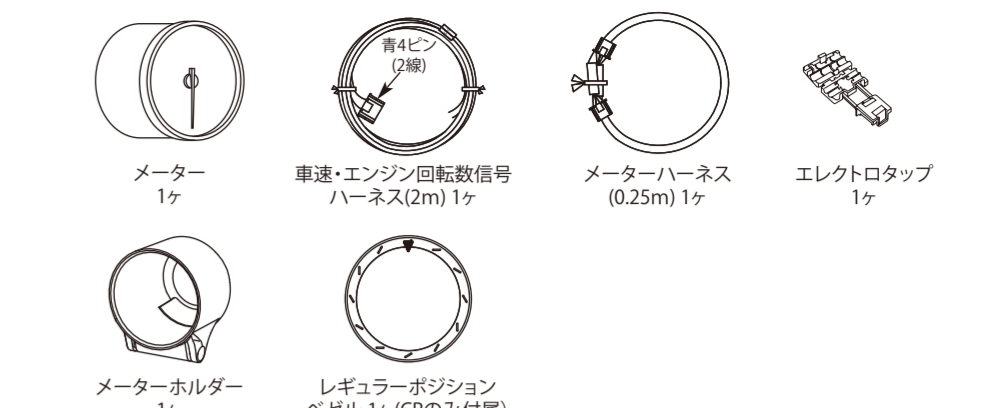
- ① エンジンが熱いときに取り付けを行わないでください。ケガをする恐れがあります。
- ② センサーを取り付ける際は、エキゾーストパイプや過給機などの中に切削屑などを残さないでください。エキゾーストパイプや過給機、エンジンの破損を引き起こす恐れがあり大変危険です。

確認

- ① フィッティングのネジサイズは1/8PTです。1/8PTのタップでネジ山を刻んでください。
- ② 始めにセンサーをねじ込み、センサー取り付け後センサーハーネスに接続してください。

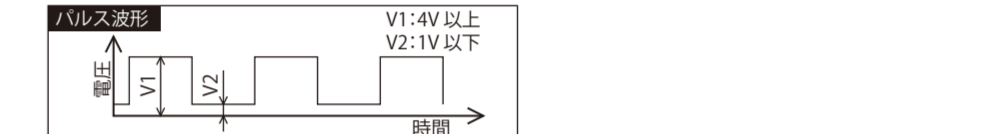
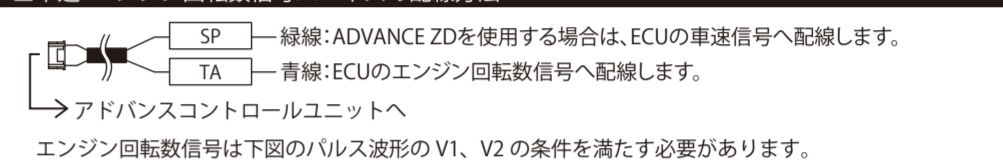
タコメーター

■構成部品



① 上記以外にスタートガイド、保証書が同梱されています。紛失しないよう、保管してください。

■車速・エンジン回転数信号ハーネスの配線方法



- 青線 (TA) を車両のECUのTA信号に配線します。
- ADVANCE ZDを使用する場合は緑線(SP)を車両のECUのSP信号に配線します。使用しない場合は緑線を絶縁処理します。
- 製品の取付・配線終了後に、アドバンストコントロールユニットの使用方法に基づき気筒数と応答性を設定します。

△注意

- ① ADVANCE ZDを使用しない場合、緑線はどこにも配線せず、確実に絶縁処理してください。
- ② 信号の配線についてはWebサイトの適用車種検索をご覧ください。適用車種検索に記載されていない車両の場合、または純正タコメーターを外した場合、市販のフルコン・点火システムをご使用の場合はDefiお客様相談室までお問い合わせください。

デフィーリンクメーター アドバンズCR・BF・RS・A1 取扱説明書
 ■発行 第5版2022年10月
 ■製造元 日本精機株式会社
 ■連絡先 日本精機株式会社 Defiお客様相談室
 【住所】〒940-8580 新潟県長岡市東蔵王 2丁目2-34 日本精機株式会社Defi
 【電話番号】(0258) 24-5221 (Japanese only)
 【受付時間】10:00~12:00, 13:00~17:00(土・日曜、祝日、当社休日を除く平日)
 【Webサイト】https://www.nippon-seiki.co.jp/defi/